

事例 7 企業による森林づくり活動へのフィールド提供により 30by30 目標の達成に寄与

(関東森林管理局 群馬森林管理署)



- ・群馬県しづかわしあかぎまち あかぎさん渋川市赤城町 赤城山国有林
- ・(左)「サントリー天然水の森 赤城」林内の様子(平成 23(2011)年 6 月)
- ・(右)植樹祭の様子(平成 21(2009)年 5 月)

群馬森林管理署では、平成 20(2008)年にサントリーホールディングス株式会社と協定を締結し、国有林野を森林づくり活動のフィールドとして提供しています。同社は、この協定に基づき国有林内に設定した約 1,300ha の「サントリー天然水の森 赤城」を対象に、植付、下刈りなどの森林整備活動や生物多様性に係るモニタリング調査等を行っています。

令和 6(2024)年 3 月にこれらの活動が評価され、「自然共生サイト」*に認定されました。

林野庁では、今後とも、生物多様性保全の取組を行う民間団体等にフィールド提供するなど、国有林野の活動を通じて、30by30 目標の達成に寄与していきます。

*「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として環境省が認定する区域のこと。認定区域は、自然公園や国有林の保護林・緑の回廊等の法制度等に基づく保護地域との重複を除き、OECM (Other Effective area-based Conservation Measures:保護地域以外で生物多様性保全に資する区域)として国際データベースに登録される。